

維新政治を問う

「もうかりまっか」「ぼちぼちでんな」大阪の商人の懐具合はいかがなものか。決して好調とは言えませんが。

図書館以外は…

この10年、大阪から企業が1000社も出て行くわ、日本一といわれた卸売りのお店も半分になったそうです。それだけやおま



少年会館やの児童文学館、ワッハ上方劇場が次々廃止になりました。そういえば、中之島の府立図書館を売り飛ばす、ちゅう話もありました。つい最近も、クレオ北ホールは廃止、これも文化センターなるわ、大阪フィルハーモニー、文楽の助成もバッサ

芸術文化のかけらも残らん ギスギスした大阪もう堪忍

ですかな。

大阪は、浪速の昔から日本一の文化都市でおました。ところが、今から8、9年前に、図書館以外の施設は必要ない、ちゅう維新政治が始まりました。青

1日借りて80万とか100万とか、府民、市民には手が届きせんわなあ。それだけやのおて、音楽の世界でも、センチューリ

交響楽団、大阪市音楽団は民営化、いうことで廃止になるわ、大阪フィルハーモニー、文楽の助成もバッサ

文化薫るまちへ

しもうて、大阪市内の公立ホールは根絶やし、でっせ。「なにゆうてんねん、市内にはフェスティバルやらんありさまですわ。

り、この紙面では書ききれんほど、大阪、特に市内は「芸術文化」のかけらも残らんありさまですわ。

大阪が文化の薫り高いまちになりますように、芸術文化人、府・市民、みんなが手を携えて行きまひよ。

ここでひとつだけええ話。中之島に大阪市立新美術館を作ることが決まりましたんや。芸術家、美術愛好者の声を寄せて、良えもんにしてほしいもんです。

草木も生えん、ギスギスした大阪はもう堪忍ですよ。

舞台家 田坪文一さん

(寄稿)